

北陸農政局事前評価技術検討会（第 1 回） 議事概要

1 日 時：令和 7 年 6 月 11 日（水） 9：30～12：00

2 場 所：石川県教育会館 第 1 会議室

3 対象地区：阿賀野川用水地区

4 委 員：上澤 聖子 一般社団法人 朝日町観光協会 (WEB)
瀧本 裕士 石川県立大学
根岸 睦人 新潟大学 (WEB)
浜野 剛 富山新聞社
松本 恵子 甲武信ユネスコエコパーク推進協議会 (※)
(五十音順)

※当日欠席のため、会議後に議事録等を送付した上で意見聴取を実施。

5 議 事：

北陸農政局事前評価技術検討会（第 1 回）を開催し、令和 8 年度事業着手予定地区である土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄）のうち土地改良施設事故防止事業「阿賀野川用水」地区について、評価結果（案）及び効用について審議した。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員） 着工してから完成するまでの間は、既設頭首工を安全に使い続けられるよう、適切な管理をお願いしたい。

（委 員） 現地調査において、頭首工の左岸側がみお筋となり、非常に流速が速いことが確認された。近年、洗掘が確認されたとのことからも、新設頭首工の完成までの間、既設頭首工の安全に留意いただきたい。

（農政局） 既設頭首工は新設頭首工の完成までの間は供用し続ける必要があり、年 1 回調査している河床部のモニタリングは引き続き行っていくこととしている。また、堤体全体を 3D マッピング化する等の最新技術も用いながら管理を行うこととしており、引き続き、頭首工の安全性に十分配慮して事業を行っていきたい。

（委 員） 事故防止事業として、全国第 1 号となると聞いている。従来とはプロセスや枠組みが異なってくると思われるが、採択のチェックにおいて、気を付けなければいけないことや、配慮しなければいけないこと等あれば教えていただきたい。

2 点目、効果算定において、左岸地区の方で阿賀野川頭首工の再整備事業費を見込んでいるが、阿賀野川用水地区で計上している改修経費は、左岸地区と

比較するとやや少額である。阿賀野川頭首工の再整備費の計上の仕方について、左岸地区との関わりや違いはどのようなところにあるか。

(農政局) 事故防止事業は国発意で事業ができること、地元負担がないことなど、これまでの土地改良事業とは異なったものとなっている。法手続上では関係者の合意が必要なくとも、地元関係者に事業内容を適切に御理解いただくプロセスが抜け落ちてはいけないと考えており、関係者へ丁寧に説明をしているところ。

(農政局) 2点目の左岸地区との関係について。今回、二つの事業は目的が違うということでお互いに関連事業にはせず、それぞれで効果は計上している。阿賀野川頭首工は左岸と右岸、両岸に用水供給しており、左岸地区で計上している費用については左岸分に必要な費用のみ計上しており、左岸の方が小さい金額を計上している。

また、頭首工の耐用年数は40年であり、本地区における事業完了後40年間の再整備費はゲート等の費用のみを計上している。

阿賀野川左岸地区では、阿賀野川用水地区の当該事業費を再整備費の項目に計上し、ゲート等の再整備費も計上している。

(委員) 頭首工を下流側に移設することに伴い、取水口はこれまでと同じ位置となるのか。また、国交省との調整は特に問題なく進んでいるのか。

(農政局) 既設の取水口を利用する計画としており、河川管理者とも協議を行っているところ。

(委員) 共同事業ということであるが、上水道や工業用水との負担割合の決め方はどのようにしているか。

(農政局) 現行の負担割合の決定方法に則った手法としており、それぞれの機関の取水量を基に、最大取水量、年間総取水量により割合を決定している。

以上